

# 国民民主 こくみんみんしゅ Press

KOKUMIN MINSHU PRESS

国民民主党 国民民主プレス 編集部 〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1  
電話:03-3595-9988 (代表) メール:press@dmp.or.jp URL:https://www.dmp.or.jp

2020年1月号

【連絡先】国民民主党茨城県第5区総支部(浅野さとし事務所)

【国会事務所】  
〒100-8981  
東京都千代田区永田町 2-2-1  
衆議院第1議員会館 406号室  
TEL: 03-3508-7231  
FAX: 03-3508-3231

【日立事務所】  
〒317-0071  
茨城県日立市鹿島町 1-11-13  
TEL: 0294-21-5522  
FAX: 0294-21-3014

公式サイト

<https://asanosatoshi.com/>



facebook



## ～新春対談企画～「茨城の未来を話そう」 大井川 和彦 × 浅野 さとし

茨城県知事 衆議院議員



2020年新春を迎えるにあたり、大井川和彦茨城県知事との特別対談を実施しました。

昨年45年ぶりに茨城国体が開催され、今後の県内スポーツの振興や、これから茨城県が目指す未来(新しい茨城づくり、県北振興チャレンジプラン、医師の確保と地域医療提供体制の充実など)について語りました。



浅野さとし 氏

大井川和彦 氏

### 就任2年を経過して

#### ○浅野さとし衆議院議員

知事就任から2年が経ちました。この2年を振り返って、改めて茨城県の魅力や今後の課題についてどのようにお感じになりますか。また昨年は、45年ぶりに茨城国体が開催され、茨城県は天皇杯・皇后杯を獲得し、総合優勝を果たしました。私も茨城県民の1人として様々な競技を観戦し、特に若い世代の活躍を見てとても感動しました。今後のスポーツ振興策についてもお聞かせいただけますか。

#### ○大井川和彦茨城県知事

この2年間、「新しい茨城づくり」に向け、私自身が変革の先頭に立ち、「スピード感」と「選択と集中」を信条に、困難な政策課題にも臆せず取り組んできました。企業誘致では、新たな成長分野の本社機能等の誘致を数多く実現し、喫緊の課題である医師確保では、最優先で確保すべき医療機関・診療科の医師数の目標を明確に示し、取組みが結果に結び付いてきたと考えています。中高一貫教育校についても、新たに10校の設置を決定し、来年度から順次開校させる計画です。また現在も、全国初となる自治体公認バーチャルVチューバー「茨(いばら)ひより」の起用や借楽園の有料化、パンダの誘致など、前例にとらわれない政策にチャレンジしています。

昨年のいきいき茨城ゆめ国体は、選手一人一人の頑張りにより天皇杯・皇后杯を獲得することができました。競技団体毎に現状分析を行い、目標値と行程表を作成し、徹底的に強化を図ったことも結果に結び付いた一つの要因と考えています。今回、好成績を残した競技の強化策をもとに、育成モデルケースづくりを進めて、その効果を検証しながら、他の競技に広げていくことにより、本県の競技力向上につなげていきたいと考えています。

#### ○浅野さとし衆議院議員

私も「スピード感」と「選択と集中」というのは行政全体の重要な課題のように思います。これに加え、「多様性」というキーワードが今後より一層重要になるのではないかと感じています。例えば、最近では「パートナーシップ宣誓制度」の実施などで知事がリーダーシップを発揮し、社会全体が多様な価値観を受容しやすい環境づくりにもご尽力されていますが、当事者となる方々の反応は良いと感じます。これからは、年齢層や性別、学歴、国籍などによって一人ひとりの考え方が大きく幅を持つ時代がやってくると言われていいますので、これからも様々な分野で、前例にとらわれない積極的な取組みにご期待申し上げます。



## 県北の未来

### ○浅野さとし衆議院議員

2019年2月には、県北振興にむけた新たな政策パッケージである「県北振興チャレンジプラン」が示されました。特に、地域の様々な取組みを牽引するリーダー人材を発掘・支援する計画には期待しています。また、日立市のかみね動物園へのパンダ誘致なども最近では注目を集めています。今後の県北振興の取組みについて教えてください。

### ○大井川和彦茨城県知事

「県北振興チャレンジプラン」をもとに、ものづくり産業の集積を活かした産業拠点の形成や、地域特性を活かした農林水産業の振興、海岸線や里山などの豊かな自然環境やアクティビティなどを活用した交流人口の拡大などにより、県北地域の活性化を図っているところです。産業の振興では、中小企業が従来の下請企業から提案型企业への転換が図られるよう、産業支援機関による販路開拓支援や技術力・生産性向上に向けた支援などを実施してきました。また、有機農産物などの生産により収益性の高い農業経営にチャレンジする農業法人への進出支援や常陸牛の生産拡大、北米をはじめとする海外への販路拡大などを行っています。

かみね動物園へのパンダ誘致については、「いばらきパンダ誘致推進協議会」を設立しました。11月には、中国を訪問し、中国国家林業草原局及び中国野生動物保護協会等に対し要望を行うなど意欲的に取り組んでいます。

さらに、奥久慈里山ヒルクライムルート等魅力あるサイクリングコースの環境整備や県北地域の自然、温泉、歴史・文化遺産、食などの地域資源を、全国トップクラスの全長約350kmのハイキング道などでつなぐ「県北ロングトレイルコース」の設定などにより、交流人口の拡大を図っていく考えです。

### ○浅野さとし衆議院議員

大井川知事自身が日立市出身ということもあり、県北の魅力は十分にご存知だと思いますが、県北には年間を通じて穏やかな気候、風光明媚な自然、海と山でとれる豊富な食材、そしてものづくりの歴史と文化という大切な財産があります。

知事がおっしゃるような観光資源開発には大いに期待が膨らむところですが、ぜひ、それぞれの自治体において、地域らしさを引き出しながら社会課題を解決していく人財の育成や、広く社会にその魅力を伝えていける人財育成に力を入れて取り組んでいける環境整備をお願いします。



## 医療の未来

### ○浅野さとし衆議院議員

茨城県は人口10万人あたりの医師数が全国ワースト2という水準で、小児科医や看護師等の医療人材が不足している状況が続いています。団塊の世代の方が75歳以上となるいわゆる「2025年問題」が間近に迫る中、医師確保は茨城県にとって喫緊の課題だと思いますが、この問題に対する知事のお考えをお聞かせください。

### ○大井川和彦茨城県知事

医師を確保し、地域医療提供体制の充実を図ることは、県政の最重要課題と位置付けています。県全体の医師数を増加させ、県内の地域偏在を解消していくことも必要ですが、まずは、県内の各二次保健医療圏における中核的な医療機関の医師不足を解消することが最優先であると考えています。そのため、平成30年9月に政策医療を確保する観点から、「最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科」を選定し、5病院16人の医師確保について、2年以内の目標達成に向けて、あらゆる方策を用いて全力で取り組んでいます。これまでに、日立総合病院の産婦人科医4名及び小児科医1名、常陸大宮済生会病院の内科医2名、神栖済生会病院の整形外科、常勤医1名及び非常勤医2名の派遣等を決定しており、着実に成果が出てきています。

医師不足の解消については、簡単に実現できるものではないことは承知していますが、このように、目標を明確にした上で進捗管理を行いながら施策を実行することにより、成果を出していくことが非常に重要なことだと考えています。今後も引き続き、全力で医師の確保と地域医療提供体制の充実を図っていきます。

### ○浅野さとし衆議院議員

素晴らしい話ですね。日立総合病院の事例などは、冒頭に知事がおっしゃっていた「スピード感」と「選択と集中」を念頭においた行政運営の巧妙がまさに発揮された事例ではないかと思います。昨年4月に社人研(国立社会保障人口問題研究所)が発表した内容によれば、令和30年には、茨城県内に住居を構える世帯主の約半数が65歳以上になるという予測もあります。医療環境の整備は時間を要する政策分野でもありますが「継続は力なり」ともいいますから、これからも取り組みの継続をお願いします。またあわせて、「かかりつけ医制度」の一層の浸透や在宅診療のための環境整備など、この分野の課題はまだありますので、私も茨城県民の皆さまの安心・健康のため一所懸命に取り組みたいです。

# 2020年の抱負

## ○浅野さとし衆議院議員

最後に、今年は東京オリンピック・パラリンピックがある年です。選手の皆さんもメダル獲得という目標にむけて頑張っていると思いますが、大井川知事の今年1年間の目標や抱負があれば聞かせてください。

## ○大井川和彦茨城県知事

人口減少や少子高齢化、デジタル経済の進展などにより、社会情勢はものすごいスピードで変化していく中、私は、現状維持は後退を意味し、そのような県政に将来はないと強い危機感を感じていました。ですから知事就任以来、失敗を恐れず、固定観念にとらわれない取組を、スピード感を持って進めてきました。一部は徐々に形になってきた一方で、まだ実績をあげるに至らない課題も残っています。このため、本年は、これまで打ち出してきた政策を、よりスピード感を持って推し進めていくとともに、絶えず効果検証を行い、軌道修正が必要とあらば、躊躇せずに見直しや追加の対策を実施し、新たな課題に対しても積極的に対応していきたいと思えます。

また、今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催される年ですが、本県でも茨城カシマスタジアムでサッカー競技が開催されるなど、インバウンドをはじめ、多くの観光客が来県されると期待しています。私はこのチャンスを逃すことなく、国内外に本県の魅力を存分に発信していきたい。1人でも多くの皆様方に「茨城県、わくわくするよね」と感じていただけるような「新しい茨城づくり」に、引き続き、挑戦していきます。

## ○浅野さとし衆議院議員

ぜひ頑張っていたきたいと思えます。知事がおっしゃっている「スピード感」と「選択と集中」は、「デジタル技術」と非常に相性が良い概念だと思います。実は、昨年の暮れ頃からスマートフォンのニュースアプリなど様々なデジタル媒体で流れている茨城県のPR広告を見た若者やビジネスパーソンの間では、茨城県に対する興味関心が向上しているそうです。国内における茨城県の知名度向上やインバウンド戦略のためのデジタル活用は、大井川知事の得意な分野だと思いますので、今後のリーダーシップに期待申し上げます。本日はお忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

## 今年も各級議員団が一致結束し、地域活性化を進めてまいります。



公式サイト



## 浅野さとし 略歴

- ▶ 1982年9月生まれ(37歳)、衆議院議員(1期)
- (株)日立製作所日立研究所研究員
- 日立労組研究所支部執行委員
- 大島章宏 前衆議院議員秘書

